

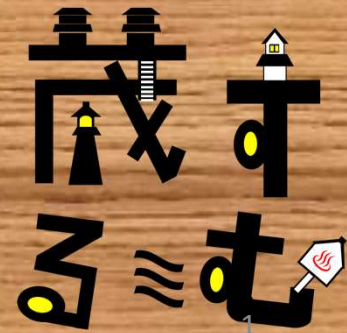
おんれい

地球の恵みに  
“おんれい” 温泉

ふつとばす

れつつ 足風呂！

東京国際大学  
観光まちおこしプロジェクト  
チーム：蔵するーむ





はじめに 

私たちは

焼津にひそむ

「2つの“もったいない”」  
をなくします！



# おしながき



1 現状

2 課題

3 提案内容

◎ターゲット

(2つの「ふつとばす」)

◎実現計画

(5つの「ととのえる」)

4 企画効果

5 将来ビジョン

「足湯健康のまち」



現状



# 現状

① **焼津温泉（泉温約50℃）** は  
1日700+湧出される、  
湯量と魅力の豊富な温泉

★温泉総選挙では  
「リフレッシュ部門」にて  
3年連続1位！！

**温泉総選挙**  
2021



リフレッシュ部門



# 現状

## ① 焼津廃棄温泉（温水）

- ・ 発揮できるパフォーマンス（効能・温度）は、温泉地で活用している温泉と同じ
- ・ 1日に使用する温泉よりも多くの温泉が排出  
→ 廃棄してしまう

この資源が、1日に300トンも廃棄されている・・・

## 現状

### 焼津温泉の強み 「塩化物泉」

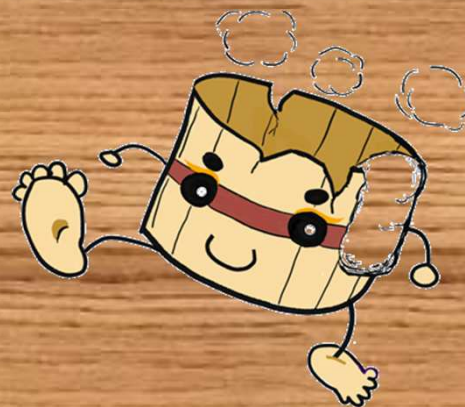
- ・ 塩化濃度が高く、肌に優しい
- ・ 弱アルカリ性による保湿効果

★魅力たっぷりの温泉が  
廃棄されてしまっていることは  
勿体ない！

## 現状

- ② 焼津市には駿河湾深層水の  
取水地があり、魚介類とともに  
海からの恵みの宝庫

焼津のまちには、  
こんなにすばらしい  
資源があるんだ！





# 現状

## ② 駿河湾深層水（冷水）

水深200～300mよりも深いところにある海水  
太陽光が届かないため植物プランクトンが  
増殖できず、表層の海水にはない強みがある！

高栄  
養性

清浄  
性

低温  
安定性



# 課題

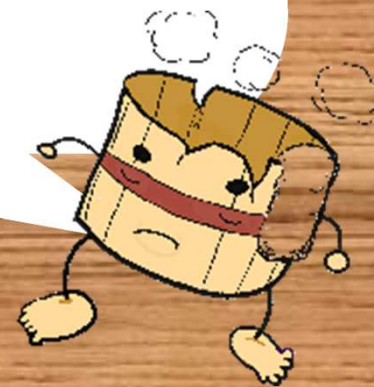


# 課題

しかし...

でも、**焼津温泉**は1日300Lも廃棄されて  
いるし、  
**駿河湾深層水**は、利用されている  
にもかかわらず、  
**あまり認知**されていないなあ・・・

もったいないよね・・・



# 課題

私たちは

おんれい

「**温冷**」 2つの焼津の恵みがある焼津で

おんれい

「**御礼**」の意をこめた

観光まちづくりプランを提案致します！



# 提案内容



ふっとばす



足風呂



私たちが提案するのは・・・

Foot

Bath

ふっとばす

足 

+ 風呂 

=

足風呂



# 足風呂



あたたかい温泉とつめたい水風呂を完備  
(使用するのはお湯だけではない!)

焼津  
温泉



駿河湾  
深層水



足風呂

# Q, なぜ足湯？

～全身浴との違いは？～

- 心臓や内臓への負担が少なく、  
全身を温めることができる
- 副交感神経が高まることでリラックスが  
出来るため、疲労回復に役立つ

★気軽に入浴でき、健康効果も見込める！



# Q, なぜ2種類の温泉？

2種類の温泉につかることにて・・・

- ・新陳代謝の向上
- ・疲労回復やリラックス効果・美容効果

★「足風呂」は、その温度差によって  
さらに多くの効能を受けられる「温冷交代足湯」を推奨します！

# ターゲット

「2つの“ふっとばす”」  
をテーマに、  
ターゲットを設定

# ターゲット

ターゲット①

「焼津市内の全世帯」

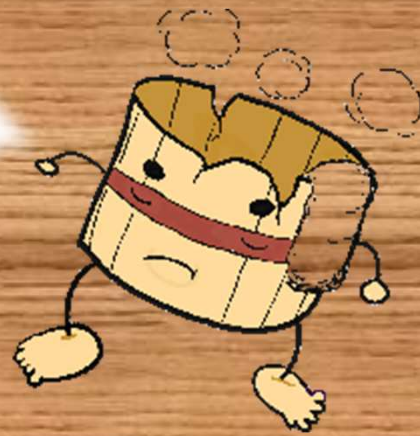
地元住民のイメージを  
“ふっとばす”

# 👣 ターゲット 🔥

「地元住民のイメージを  
“ふっとばす”」

焼津温泉の強み  
(温泉総選挙の功績、効能)  
をほとんどの人が認知していない

焼津にすむ人に直接調査したけれど、  
ほとんどの人が、**焼津温泉のすごさを  
知らないみたい・・・**



# ターゲット

ターゲット②

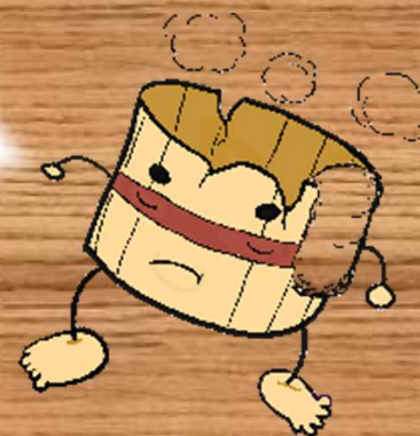
「首都圏・名古屋圏に住む若者」

観光客の焼津へのイメージを  
“ふっとばす”

# 観光客の焼津への イメージを“ふっとばす”

水産文化都市のイメージが強すぎて、  
まだ“温泉のまち”として定着していない

焼津にきている観光客の  
方々に聞いても、  
ほとんどが「**焼津＝おさかな**」の  
イメージみたい・・・



## 企画内容

「**焼津廃棄温泉風呂**」の隣には必ず  
「**駿河湾深層水風呂**」  
(「**温**」⇔「**冷**」で、  
手軽に「ととのう」)

豊富な湯量を活かし、駅前の足湯からはじめ、  
市内各所に足湯をオープン

ふっ飛ばす  
「足風呂」を  
浸透させるために  
4つの“ととのえる”  
を提唱します！



# 企画内容

1. 「足風呂」の  
プロモーションイベントを

**ととのえる!**



# 👣 企画内容 🔥

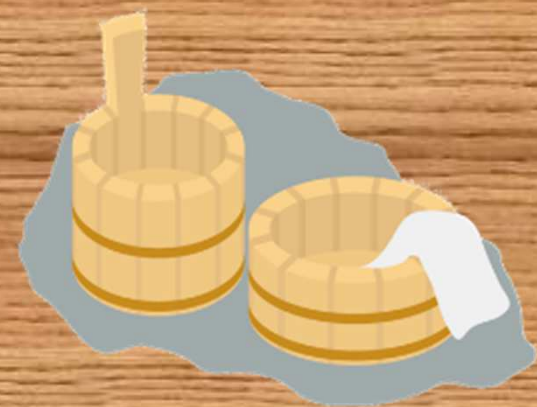
## プロモーションイベント① 「ふっとばすタンク」

市内各所（公園・商店街）に  
温冷2種の  
足湯タンクを設置

タンク付近に専用のベンチを  
設置し、  
タンクから好きな足風呂を選び、  
好きな場所で足風呂を体験



# 企画内容



## 「ふっとばすタンク」の利用方法

① 「マイ桶」を持参



② 温泉タンクから、2種の好きな温泉をくみ、  
自身で自由につかる

(足風呂が利用できない方にも活用可！)

★足風ロード開始より、一ヶ月前より設置し、  
2種の温泉を味わってもらう

「足風ロード」の体験・プロモーションだけでなく、  
多様な「つかり方」ができる、可能性の塊！！

# 👣 企画内容 🍲

## プロモーションイベント② 「マイ桶コンテスト」

#まいふっとばす 🍲にて、  
自身でデザインした木桶を  
、インスタグラム等のSNSで  
焼津のお気に入りの風景と  
ともに写真撮影・投稿

受賞された「マイ桶」の  
デザインは商店街にて販売



## 企画内容

これらを行うことでより親近感を持って  
足風呂に参加してもらおうと同時に、地元住民が  
観光客を足風呂によって受け入れる体制を確立！

地元住民や観光客に**焼津温泉**と**駿河湾深層水**の  
認知へとつながる！

# 企画内容

## 2. 市内各所に足風呂を

**とどろく!**

## 企画内容

「親水広場ふいしゅーな」をはじめとして、  
水辺で楽しめる観光施設に  
足風呂を整備

実際に整備されている例として、  
「JR焼津駅前足湯」がある！

# 企画内容

## JR焼津駅前足湯について

→ 「やいづ黒潮温泉」を  
「旅の入口」にて体験

★年々、利用する人は増えており、  
中にはほとんど毎日利用する  
人がいるほど！



一般社団法人 焼津市観光協会

<http://www.yaizu.gr.jp/sp/enjoy/detail.asp?sid=231>



# 「親水広場ふいしゅーなとは」

焼津漁港内の新港地区にある親水広場

駿河湾の満ち引きを利用設置されている「潮だまり」での生物観察ができる

★水辺や噴水を  
「足風呂」へ変化させ、  
より多くの人に「足風呂」を  
利用してもらい、  
観光地としての焼津の魅力を  
さらに向上！



## 企画内容

3. 足風呂を活用し、  
焼津で長くをしてもらう仕組みを

**ととのえる!**

# 👣 企画内容 🌿

## 「ナイト足風呂」

### ナイトプール+足風呂(ふっとばす)

→ 宿泊施設にて開催！夜の魅力も高める

- 足風呂につかりながらライブ(和楽器)を楽しむ
- イルミネーション
- プロジェクションマッピング
- 縁日

★温泉のない施設でも、  
足風呂を満喫できる！



## 企画内容

4. 「足風ろおど」が街中に拡大  
足湯健康のまちストーリーを

**とどろく!**

# 企画内容

あしぶ

『足風ろおど』の完成」

より多くの人に  
足風呂を利用してもらえるように、  
焼津市全体に足風呂を拡大

焼津温泉や駿河湾深層水に関する  
観光施設へ誘導

# 企画内容

## 「足風ろおど まっぷ」

- ★ **温かい「足風呂」**と  
**冷たい「足風呂」**を交互に  
利用できるルート
- ★ 「**焼津温泉**」と  
「**駿河湾深層水**」に関する施設  
へと誘導



# 企画内容

## ①焼津市民向け

→ 焼津市タウン誌を中心にPR  
(地元掲示板や回覧板・SNSの活用)

## ②観光客向け

→ 「足風呂」を首都圏・名古屋圏の  
メディアを使い、大々的にアピール

★ハッシュタグ [#まいふっとばす](#)  の活用も視野に

# 企画の流れ

足湯健康DMO発足  
本企画の開始

2023

協賛団体の確定  
・「ふっとばす  
タンク」の工事  
開始

2024

本企画の  
告知開始

2025

地元参加型  
イベントの開催  
「足風ろおど」の  
工事開始

2026

「足風ろおど」  
の完成

2027

そして足風ロードは、  
今後も続く仕組みへ・・・





# 企画の効果



# 足湯健康のまち “やいづ”

焼津市のすべての住民が  
足湯に浸かる事により、  
「**足湯健康の街**」を目指すと共に  
**足風呂=焼津**のブランド化を図り、  
観光客を引き入れる

最終的に、SDGsも考慮した  
持続可能性の高い温泉都市という  
観光地として確立させる



# 経済・社会効果

	経済効果	社会効果
焼津市	交流人口年間50万人増加 「足湯健康のまち」への移住者年間500人増加	廃棄される温足風呂に活用することにより、SDGsも視野に入れた観光まちづくり
地元住民	観光関連事業者への経済波及効果	地元住民の交流の場となり、焼津の資源の良さを実感・共有してもらえる場づくり
観光客	//	日本初の「足風呂」という試みで話題づくり



# 将来ビジョン



# 社会効果

## 足風呂＝焼津のブランド化

焼津市と言えは…

水産文化都市 → 他地域と比較し、おんせん

足風呂を導入し多くの市民・観光客が

足風呂に浸かることで

★焼津市の新たなるブランドとして定着



「焼津市と言えは温泉と水産だよね」

# 社会効果

## インナーマーケティングも考慮した足湯 健康のまち宣言

★観光客だけではなく、地元住民も巻き込んだ  
持続可能なまちづくり

★足湯のメリットを最大限に活用しつつ  
SDGsにも考慮した企画で

持続可能性の高い温泉都市

という観光地として確立

# 実施体制

## 観光客から移住民への変化

### ★交流人口

足湯を通して他の観光客や  
焼津で働く人などの地元住民と交流する

### ★関係人口

地域参加型イベントを共に作り上げる

### ★定住人口

焼津の魅力を知ってもらい移住につなげる

# 実施体制

## 実施体制

★足湯健康のまちDMO組織の設立  
→事業推進

★おかえり焼津事務局 設立  
→地元での働き甲斐を実感



自分たちの考える  
「持続可能な観光まちづくり」とは

★足湯健康のまち

★廃棄温泉を活用する事により  
SDGsを視野に入れた観光まちづくり

★地域資源の活用

★観光客だけではなく地域の人も楽しめる

かつての焼津の常識を地元の強みとして  
活用するよりも、

新しい2つの資源を活用し、  
今までの常識を「ふっとばす」ことで、  
「足湯健康のまち“やいづ”」の  
新常識をととのえます！

